

2020年12月28日

ヤマハ吹奏楽団

常任指揮者 佐々木新平氏就任のお知らせ

この度、指揮者 佐々木新平氏が2021年1月よりヤマハ吹奏楽団常任指揮者に就任することになりました。

佐々木氏は吹奏楽のほかに、オーケストラや合唱、オペラ等多岐にわたり活躍を続けられており、弊団とは2019年6月に第53回定期演奏会で共演し好評をいただきました。

ヤマハ吹奏楽団は、佐々木氏と新たな関係のもと、これまでの60年間で培った音楽性をより充実したものとし、これからも地域に根差した活動を通して音楽文化の発展に貢献できるよう尽力してまいります。

なお、佐々木氏は2021年6月19日の第55回定期演奏会に常任指揮者として出演を予定しております。どうぞご期待ください。

～常任指揮者就任に寄せて～

この度ヤマハ吹奏楽団常任指揮者という責任のあるポジションに就くことを大変光栄に思います。

2年前の初共演、世界のヤマハの看板を背負うこの楽団の高い表現意欲と責任感に感激し、本番の演奏も吹奏楽の新たな可能性を無限に感じさせるものでした。

吹奏楽は今や日本の音楽シーンのあらゆる場面で重要な役割を果たしています。私自身も中高では吹奏楽に熱中し、こうして指揮者として活動するなかでも、どのように吹奏楽に貢献できるかを常に考えてきました。優れた演奏能力を持ち、国際的にも非常に発信力がある楽団に、職業指揮者である私が関わる。これは吹奏楽界の活動や表現の可能性をさらに広げるチャンスであり挑戦と思い、この職を引き受ける決心をしました。

世界最高峰のクオリティを誇るヤマハ楽器、それを作り、操る「匠」のみなさんとの活動が今から楽しみでなりません。吹奏楽の芸術性をより高め、魅力あふれる音楽の普及に邁進していくことを誓います。

ヤマハ吹奏楽団のこれからのぜひご注目ください。

佐々木新平

佐々木新平 *Shimpei Sasaki*

秋田県出身。東京学芸大学芸術文化課程音楽専攻を経て、桐朋学園大学にて指揮を専攻。ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラ、H.アンドレシュク、M.ストリンガーら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年からミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいて本選最終の8人に選出。

これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団、東京混声合唱団、東京佼成ウインドオーケストラ、東京吹奏楽団、シエナ・ウインド・オーケストラ等、国内主要楽団に客演。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団においては、2010年より指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏をはじめとする指揮者のもとで活動。その後2019年9月まで同楽団アソシエイト・コンダクターを歴任。特別演奏会から文化庁主催子供のための巡回公演事業に至るまで様々な活動で共演を重ねている。

現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。その他、NHK 公開収録コンサートへの出演、ポップカルチャーにおけるオーケストラレコーディングや公式コンサートでの指揮、さらに映画「マエストロ！」や「海賊とよばれた男」等名作における出演者への指揮指導および劇中音楽のスタジオ収録指揮を務め、多方面に活動の幅を広げている。

しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。



この件に関する問い合わせ先は、ヤマハ吹奏楽団事務局 TEL：053-460-2721（平日9:00～17:00）までお願いいたします。